

あなたなら きっと できる!

# Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第12号 令和5年3月7日発行

問合せ先 : [sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp](mailto:sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp)

## ★内定体験記★ ～就職編②～

今回は、(株)マルイキットセンター様・トランスコスモス(株)様・(株)ヨシダ様から内定をいただいた専攻科2年生3名の就職内定体験記です。

私がマルイキットセンターを選んだ理由は、現場実習に行って聾者の先輩方が多く、手話を使ってコミュニケーションが取れて安心して働けると思ったからです。どの部署でも仕事の内容を優しく、丁寧に説明してくれて、分からない時はすぐに質問出来る環境で実習を進める事が出来ました。現場実習を経験して働きたい気持ちが強くなりました。その後、試験は面接のみと分かり面接の練習を繰り返しました。大変だったことは、面接官の質問の答えを考える事でした。練習をしたので本番では、きちんと自分の言いたいことを伝えることが出来ました。

もう1社実習をさせていただいた会社では、ポケットークを使ってコミュニケーションを取りました。仕事の内容は、とても楽しかったのですが、やはり手話を使ってコミュニケーションが取れる事と、聾の先輩がいる事が心強かったので、マルイキットセンターを選びました。

就職活動で実際に現場実習に行く前は不安なことがたくさんあると思いますが、先輩方や担当の人の話を聞いて分からない時は質問する事が大切です。間違えてもすぐに報告する事が必要です。

OIOI Kit Center

会社を選ぶ時に重視したポイントは「やり甲斐を感じられる」なので、何社かの実習を受けた中から選び、最終的に4月から入る予定の会社の試験を受けました。その会社の試験内容が複数回の面接、作品提出やwebテストがあり、今までにない経験でしたので嫌になる程大変でした。作品提出では、提出締切日まで今まで制作したものをリメイクしながら自分が納得できるまでこだわったり先生方に見てもらい感想を頂いたりして大変でした。何もかもから逃げたい気持ちでしたが、当然逃げられないですし、自分が入りたい会社だからこそ最後までやり遂げるしかないと思い、最後までやってきました。面接の時も緊張と不安の両方ありましたが、今まで練習してきたことを生かし、アピールできるものはアピールをたくさんし、その結果、無事通過し最終的に合格することができました。

全てを捨ててしまいたいくらい嫌になることもありますが、結果がどうであれ、むしろ良い経験だから無駄ではないので、まず何事も最後までやり遂げることが大事だと思っています。



裏面へ続く

進路は、株式会社ヨシダというチラシや広告を印刷・生産する会社です。以前、市役所や国立印刷局といった公務員になるために試験を受けにいきました。公務員になるという憧れが二つの入社試験によって崩され、自分が行く進路を迷うことになりました。

そんな中、四者面談にて転機が訪れました。先生から「ロナスクールという就労移行支援に通いながら仕事を探すのはどうだろうか」という提案をいただいて見学に行きました。

ロナスクールの方からは「仕事は見つかるから心配はない」という言葉をいただきましたが、私は仕事の募集がいつでもあるということではないと思い、就労移行支援に通いながら仕事を探すのを止め、今すぐ仕事を探す方針に切り替えました。すると大宮ろう学園に印刷業関連の急募があると先生から教えてもらい、見学をしました。実習をやりたいと懇願しました。諸事情でやむなく延期することがありましたが、封筒に紙を入れて封をする印刷の仕事や印刷用紙の整理、ロール紙の運搬などをやりました。実習を始めてみると社員の皆様は優しく接してくれました。ゴーツと機械の音がうるさく、難聴者としては厳しい環境でした。しかし、株式会社ヨシダに勤務している社員の温かい言葉があり、頑張れました。

実習先からは「勤務態度は高評価」と称賛していただき、進路の志望先として決めました。後輩に伝えたいことは、信頼を勝ち取るために「報連相」と「挨拶」をしっかりとすることで、最低限として、メモと筆記用具の携帯が大事であるということです。

